

半定量イオン試験紙 パーオキシド 1000 (MN91333)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。但し測定部と警告部(Warning field)には手を触れないでください。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過によって変化する場合があります。

《使用法》

1. 必要数の試験紙をアルミ容器から取り出し、直ちに容器の栓を閉めます。
 2. pH2~9 に調整したサンプル溶液に試験紙の測定部と警告部を 1 秒間浸した後、取り出します。
 3. 試験紙に付いた余分な液を取り除き、45 秒後に測定部を容器外側のカラースケールと比較/照合し判定します。
 4. 過酸化水素(H₂O₂)の存在で測定部は白色から茶色に変色します。
- ※試験紙の測定部は 45 秒経過後も変色し続ける可能性があります、比較/照合の参考にしないでください。

《補足》

もし警告部が 45 秒以内に青色に変色した場合は、測定部の測定結果が読みとれたとしても過酸化水素の濃度が 2000mg/L を超えていることを示します。この場合は過酸化水素の濃度が 1000mg/L 未満になるよう蒸留水で希釈してから再測定します。

《妨害》

- pH2 未満の強酸性溶液の場合は酢酸ナトリウムを、pH9 超のアルカリ性溶液の場合はクエン酸を加えて pH5~7 に調整します。
- 他の強酸化剤が存在すると測定を妨害します。
- 次の量のイオンは測定を妨害します。
 - ・ 1000mg/L 超：ホルムアルデヒド(HCHO)
 - ・ 500mg/L 超：Ca²⁺、NO₃⁻
 - ・ 100mg/L 超：アスコルビン酸塩、遊離塩素、結合塩素、SO₃²⁻
 - ・ 70° d(88° e)超：全硬度

※遊離塩素、結合塩素が存在すると警告部が青色に変色します。

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。